

# 西区今昔かるた



令和6年は西区制80周年

温故知新 歴史をついで未来をつくらう

## 【解説書について】

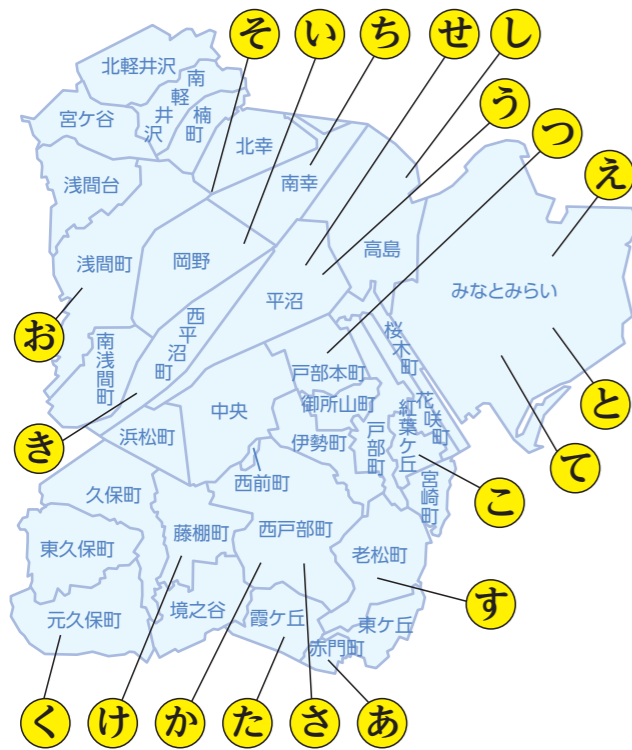
解説書の内容は、西区今昔かるた発行（2024年3月）時点のものです。

## 【絵札について】

- ・画像サイズの都合上、絵札の向き（タテ・ヨコ）が混在しています。
- ・出典の記載が無い画像は、講座受講者及び西区役所が撮影したものです。
- ・出典の後に（ ）書きで記載されている年は、画像の撮影年です。  
※撮影年不明の画像については記載がありません。

## 【白札について】

読み札、絵札、各2枚の計4枚あります。札を紛失した場合や、オリジナルの札の作成にお役立てください。



- 各札で取り上げている施設等が所在している町を示したものであり、正確な所在位置を示すものではありません。
- 1つの札で複数の施設等を取り上げている場合、そのうち1か所が所在している町を示しています。

## あ 赤門の歴史を知ろう 東福寺

【東福寺】朱塗りの山門が美しい東福寺は、鎌倉時代中期の1243年に創建されました。以来7回もの焼失を乗り越えて復興し、現在に至ります。徳川家康に寺領を頂き御朱印寺となると同時に、朱塗りの山門が許可され、赤門町の町名の由来となる見事な赤門になりました。昔と今で、門の形が違うことにも注目してみてください。

## い イベントは 西公会堂に 集合だ

【西公会堂】昔の写真は、1962年に、現在の中央2丁目に西公会堂として建てられたものです。その後、1982年に西センターとして現在の場所に移転しました。1997年に藤棚に地区センターが開設する際、国道1号線を隔てた地区にも一つ地区センターをとという事から、西センターを二つの機能に分割し、西地区センター・西公会堂として開設しました。

## う 梅香崎橋 橋から見える 花筏

【梅香崎橋】1929年に架けられた梅香崎橋は、紅梅町と石崎町を通ることからその名が付けられました。今の写真は、梅香崎橋の上から見える春の景色です。川沿いの桜並木を愛でながら、川に「いかだ」のように浮かぶ桜の花も楽しむことができます。昔は1本の橋でしたが、のちに両脇に人道橋が架かり、今では3本の橋が並んでいます。

## え MMは みなとみらいの 頭文字

【みなとみらい】「MM（えむえむ）」と略されることもある、みなとみらいエリア。現在は様々なビルや施設が建てられていますが、もともとの造船所などの機能を廃止・移転して、その跡地に都市機能を集積させることで発展を続けてきました。

## お おみこしが 街ねりあるく 浅間さまの例大祭

【浅間神社】1080年に創建された歴史ある浅間神社では、毎年6月に例大祭が執り行われ、浅間神社下の旧東海道沿いや横浜駅西口などをお神輿が練り歩きます。威勢の良い掛け声に合わせて揺れる立派なお神輿は、今も昔も変わらず街を活気づけています。

## か 開港を 陰で支えた 願成寺

【願成寺】現在の所在地に移る前は、くらやみ坂の下（現在の西区役所付近）に位置していました。横浜開港後に新設された神奈川奉行所の宿舎にもなり、開港を陰で支えた立役者と言えます。

## き 球体は 生活支える ガスタンク

【ガスタンク】1872年、横浜の実業家・高島嘉右衛門が日本初のガス会社「横浜瓦斯（ガス）会社」をつくり、ガス燈の普及に貢献しました。昔の写真は、1877年頃、中区花咲町にあったガスタンク（正式名称：ガスホルダー）、今の写真は、現在の西平沼町にあるガスタンクです。昔は円筒状、今は球体と、形は違いますが、今も昔も変わらず人々の生活を支えています。

## く 久保山の 歴史の重み 富士望む

【久保山墓地】1874年に開設された久保山墓地には、歴史上に名を残す著名人が多く眠っています。山を覆うように建てられたこの墓地では、横浜の歴史を感じるとともに、お天気が良いと富士山を見渡すことができます。

## け 煙立つ のっぽの煙突 銭湯のしるし

【銭湯】1929年頃、西区には市内でも最多の69軒の銭湯がありましたが、その数は徐々に減少し、1999年には14軒（今の写真と昔の写真に掲載している銭湯の合計数）、現在も営業している銭湯は、今の写真のとおり4軒となりました。昔に比べて軒数は減少しましたが、今も変わらず煙立つのっぽの煙突は、西区の銭湯の目印となっています。

## こ コーヒーが 似合うモダンな 県立図書館

【神奈川県立図書館】日本のモダニズム建築を代表する建築家・前川國男により設計された神奈川県立図書館は、1954年に開館しました。その前川建築の意匠を継承し2022年に開館した新しい「本館」にはライブラリーショップがあり、読書の合間に淹れたてのコーヒーも楽しめます。旧本館は「前川國男館」となり、現在再整備中です。

## さ 坂つづく 今も昔も 尻こすり

【尻こすり坂】お尻がこすれるほど急な坂であることから、「尻こすり坂」と呼ばれるようになりました。上り下りを繰り返しながら続く坂は、らくだのこぶのようでもあることから、「らくだ坂」と呼ばれることもあります。今も昔もお尻がこすれるほど急な坂が続く尻こすり坂、ぜひ足を運んで体感してみてください。

## し シウマイ弁当 あなたはどれから 食べますか

【シウマイ弁当】横浜名物シウマイの妹分として、1954年に登場したシウマイ弁当。シュウマイでなく「シウマイ」という表記は、初代社長の栃木訛りが中国語の発音に似ていたからなんだとか。今も昔も変わらず愛され続けるシウマイ弁当には、定番のおかずが詰まっています。あなたはどれから食べますか？

## す 水道が 初めて布かれた 水道道

【水道道】1885年、神奈川県知事は英国人技師パーマー氏を顧問に迎え、相模川の上流から野毛山浄水場に至る水道の建設に着手し、1887年、日本初の近代水道として給水が始まりました。その後、野毛山浄水場は関東大震災の被害により配水池へと姿を変え、2001年までの運用を経て役目を終えた現在も、野毛山公園内に施設跡が残されています。

## せ 戦争の 痕跡伝える 京急平沼駅

【京急平沼駅跡】京急線横浜駅と戸部駅との間の高架線上には、1931年から営業していた京急（当時は京浜電気鉄道）平沼駅のホームが残っています。この駅は、1944年に太平洋戦争の戦況悪化を受けて廃駅となりました。プラットホームには、1945年に横浜大空襲を受けた火災跡が今もそのまま残されており、戦争の痕跡を伝えています。

## そ 袖ヶ浦 入り江の景色 いまむかし

【袖ヶ浦】戸部村と芝生村（しばうむら／現・浅間町）の間の入り江にあり、その形が着物の袖のようであったことから「袖ヶ浦」と呼ばれるようになりました。昔の絵札は、現在の横浜駅西口方面の景色で、当時は海の中であったことがわかります。その後、埋立てにより次々と新田が開発されるなど発展を遂げました。

## た 大正の 遺構を残す 霞橋

【霞橋】渡り切るとそこは南区という区境にある霞橋は、「かながわのはし100選」および横浜市認定歴史的建造物に選定されています。初代の橋は1913年に架けられましたが、関東大震災により損壊し、現在の橋は1928年に架け替えられました。レンガ壁や門柱は初代の橋を再使用しています。

## ち 地下鉄に バトンを渡した ちんちん電車

【市電／地下鉄】1921年から1972年までの約50年間、警笛の音から「ちんちん電車」の愛称で横浜市民の足として親しまれた横浜市電。かつて街の中を走っていた路面電車は、今は地下鉄にバトンを渡し、広く横浜を駆け回っています。

## つ つづら折り お化け段々へび段々

【お化け段々／へび段々】へびのように曲がりくねっていることから、その昔は「へび段々」とも呼ばれていました。その後、子どもが遊ぶと危険な場所であったことから「お化けが出るから遊ばないように」と言い聞かせたことなど、由来は諸説ありますが、今ではこの場所は「お化け段々」とも呼ばれています。現在は白い手すりが付けられていますが、その外側には、昔の手すりも残っています。

## て 天高く 白い帆を張る 日本丸

【帆船日本丸】船員養成用の練習船として作られた帆船日本丸は、海上で保存されている帆船としては日本初の国指定重要文化財です。天高く白い帆を張る美しい姿は、「太平洋の白鳥」と呼ばれていました。全ての帆を広げた帆船日本丸の姿は、年間約12回だけの貴重なショットです。

## と ドック跡 今は新都市 みなとみらい

【ドック跡】日本に現存する商船用石造りドックを後世に伝えるべき資産として復元したドックヤードガーデンは、国の重要文化財、横浜市認定歴史的建造物に指定され、今はみなとみらいの屋外スペースのひとつとして活用されています。

## な なごやかな ひだまり広場は 象舎あと

【野毛山動物園】今は休憩所として来園者の憩いの場となっている「ひだまり広場」は、かつて象舎があった場所です。人気者だった雌のインドゾウの「はま子」は、1951年から2003年までの52年間の生涯を終えた後も、小さな銅像となって来園者を見守っています。

## に にこやかに しあわせはくぐむ 西区役所

【西区役所】1944年に中区から分区する形で誕生した西区は、1972年に現在の区庁舎に移転しました。昔の絵札は、1944年から1952年までの間、現在の高島町付近に設置された区庁舎です。2024年には区制80周年を迎え、「だれもがにこやか しあわせにくらせるまち 西区」を目指して運営を続けています。

## ぬ 濡れちゃった 臨港パークで 波浴びる

【臨港パーク】横浜港を望む抜群のロケーションが目の前に広がる臨港パークでは、風が強い日には波しぶきを浴びることも。奥に見える建物の数が今と昔で違う点にも注目してみてください。

## ね ネイビーブルー 駆け抜けていく 相鉄の車両

【相鉄線】相模鉄道では、創業100周年である2017年を契機に駅や車両などのデザインブランドアッププロジェクトが進められており、濃紺色の「YOKOHAMA NAVYBLUE（ヨコハマネイビーブルー）」の車両が区内を駆け抜けています。昔の絵札は、1955年から1975年まで活躍した5000系電車です。

## の 野毛山の 伊勢山皇大神宮は 横浜総鎮守

【伊勢山皇大神宮】1870年に創建され、「関東のお伊勢様」と親しまれる神社です。もと戸部村東部の伊勢山（現在の掃部山公園東北端あたり）にあった大神宮を野毛山に遷したことで、その所在地は伊勢山と呼ばれるようになりました。昔から総鎮守として、横浜を見守ってくれています。

## は 花咲橋 昔は市電 今はバス

【花咲橋】現在はバスの停留所である「花咲橋」ですが、昔は横浜市電の停留場でした。その昔、ここには桜川という川が流れ、「花咲橋」という名の橋が架かっていたことから、川が埋立てられて橋が無くなった後も地名として橋の名が残っています。

## ひ 平沼高校 昔は横浜第一高女

【神奈川県立横浜平沼高等学校】1901年に神奈川県高等女学校として開校した後、校舎の再建や校名の変更などの変遷をたどり、現在は共学の高等学校となりました。1930年から1947年の間は神奈川県立横浜第一高等女学校として、「第一高女」の呼び名で親しまれていました。

## ふ 藤棚をくぐると並ぶ 商店街

【藤棚／商店街】藤棚交差点の両側にある藤棚をくぐると、毎日の暮らしに欠かせない食品や日用品、美味しいご飯が食べられるお店など、日々のお買い物に立ち寄れるお店がズラリと並びます。絵札は藤棚一番街の今と昔を表していて、よく見ると今も昔も仁井屋さんの看板文字があるのが分かります。

## へ 別荘の 見事な石積み 栄華あと

【野毛山別荘】明治時代の野毛周辺は、生糸などを扱った貿易商・平沼専蔵の別邸をはじめ、原善三郎や茂木惣兵衛などの大商人の別邸が建つ別荘街でした。現在の野毛坂交差点角（市立中央図書館の反対側）にある、お城の石垣のような見事な石積みは、栄華を極めた大商人たちの別荘の名残りです。

## ほ 蒼ある ヨコハマダケは 西戸部生まれ

【ヨコハマダケ】1912年、県立第一中学校（現・希望ヶ丘高校）の教員であった松野重太郎氏によって西戸部町で発見され、植物学者・牧野富太郎博士によって名付けられた「ヨコハマダケ」。タケという名前がついていますが、実はササの仲間です。発見者である松野氏の自宅跡地（都筑区川和町）には、発見の記念碑が建てられています。

## ま 前田家の 由緒正しき 能舞台

【横浜能楽堂】横浜能楽堂に設置された「旧染井能舞台」は、1875年に東京・根岸の旧加賀藩主前田斉泰邸に建てられ、1919年に東京・染井に移築されたのち、1965年に解体された能舞台を復原しています。横浜市民を中心とした働きかけにより、横浜市が能楽堂建設に向けて施設構想を検討し、1996年に横浜能楽堂が開館しました。

## み ミツ沢の坂 仮免の車も通る

【ミツ沢の坂】大きなカーブを描く急な坂道では、近隣に自動車教習所があることから、仮免許の車も見受けられます。その様子は、今も昔も変わりません。

## む 虫の音を 聞くのも楽し 掃部山

【虫の音を聞く会／掃部山公園】「西区虫の音を聞く会」は、横浜開港の立役者であり、茶道などに通じた文化人でもあった井伊掃部頭直弼公にちなんだ催しです。鈴虫の鳴き声を聞きながら直弼公の銅像にお茶を捧げる献茶式や、和楽器の演奏などを楽しむ催しとして掃部山公園を会場に1965年に始まりました。

## め 珍しや 杉山神社の 拍ねずみ

【杉山神社】狛犬ならぬ「拍ねずみ」は、杉山神社の祭神である大国主命（おおくにぬしのみこと）の使いがねずみであることから、神社の創建1350年を記念して2002年に建立されました。拍ねずみは台座が回るので、ぜひ願掛けをして回してみてください。

## も 紅葉坂 西区の文化が 息づくところ

【紅葉坂】横浜能楽堂や横浜市民ギャラリー、神奈川県立青少年センター・図書館・音楽堂などの文化施設が集まる紅葉坂。昔は石畳が敷き詰められていましたが、現在はアスファルトに改修されています。

## や ヤッホッポー 秘密基地だよ ログハウス

【境之谷公園こどもログハウス】境之谷公園内にあるログハウス「ちびっことりで」は、室内全体がアスレチックになっています。のぼり棒、ロープ階段、すべり台などが張り巡らされた室内はまるで秘密基地のようです。

## ゆ 悠久の 時超え発掘 軽井沢古墳

【軽井沢古墳】1965年に発掘調査が行われた軽井沢古墳は、出土遺物から6世紀末に造られたものと考えられ、横浜市域において最後に造られた前方後円墳とされています。現在は古墳跡の碑と案内看板が建てられ、同時に思いを馳せることができます。

## よ 横浜道 開港場へ 一直線

【横浜道】横浜道とは、1859年の横浜開港に際して、東海道と横浜港を結ぶためにつくられた街道のことです。東海道筋の芝生村（しばうむら／現・浅間町）から開港場である横浜（関内）へと一直線に結ぶ道を開くとともに、新田間（あらたま）、平沼、石崎の三つの橋が架けられました。

## ら ランドマーク のっぽのタワーで 見渡して

【横浜ランドマークタワー】その名のとおり横浜の目印と言える横浜ランドマークタワーは、1993年に開業しました。タワーの高さは296mで、地上69階に位置する展望フロア スカイガーデンからは、関東平野一円の雄大なパノラマを見渡すことができます。

## り 隣人と 西区を巡る ハマのウォーキング

【西区ハマのウォーキングフェスティバル】2007年に始まった西区ハマのウォーキングフェスティバルは、ウォーキングを通じて西区の魅力スポットを楽しむことができるイベントです。ゴール地点でお出迎えしてくれる西区のマスコットキャラクター「にしまるちゃん」の顔も、よく見ると今と昔で変わっています！

## る ルーツたどると 明治開業 横浜駅

【横浜駅】1872年（明治5年）に日本で最初の鉄道が新橋・横浜間で開通しました。昔の絵札となっている初代横浜駅は現在で言う桜木町駅のある場所（中区）に位置していました。その後、高島町交差点付近に移ったのち、今の絵札となっている現在の場所（高島2丁目）に移り、毎日多くの人々が利用しています。

## れ 礼をして みんなでお参り 成田山

【成田山横浜別院延命院】千葉県にある大本山成田山の別院で、1870年に横浜別院として創建された後、1893年に延命院の寺号を移す形で現在の名称となりました。願い事が叶うと噂に高い不動明王を祀る寺院で、年間を通じて厄除けや家内安全、商売繁盛などを祈願する人々が訪れます。

## ろ 六角形 本が並ぶよ 中央図書館

【横浜中央図書館】開港60周年を記念して1921年に横浜公園で開業した横浜市立図書館は、関東大震災で焼失した後、1927年に現在の中央図書館と同じ場所に再建されました。正六角形を組み合わせた建物の形が特徴的な現在の中央図書館は、1994年に竣工され、市立の図書館では全国でも最大級の約170万冊の資料を所蔵しています。

## わ 輪になって みんなで踊る 西区音頭

【西区音頭】昭和60年（1985年）に区の音頭として作られた「西区音頭」。広く区民の方から歌詞を募集し、西区文化協会が振り付けを考えました。だれにでも気軽に歌える・踊れることを念頭に作られたこの音頭は、今も区内各地の盆踊りで流れるなど、長く区民に愛されています。

### 西区今昔かるた

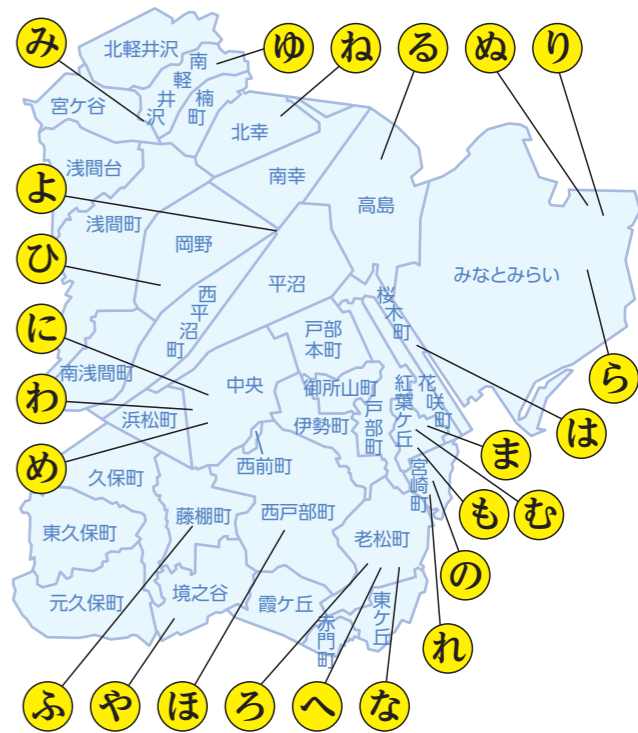
（令和6年3月発行）

【作成者】 令和5年度西区生涯学習講座  
「写真で西区の今昔を学ぼう」受講者

講座の詳細についてはこちら➡



【監修】 田村 泰治（西区郷土史研究会）  
【発行元】 西区地域振興課（西区中央1-5-10）  
TEL：045-320-8390  
FAX：045-322-5063  
E-mail：ni-gakushu@city.yokohama.jp



■各札で取り上げている施設等が所在している町を示したものであり、正確な所在位置を示すものではありません。  
■1つの札で複数の施設等を取り上げている場合、そのうち1か所が所在している町を示しています。